

# おおたけ市議会だより

OTAKE CITY 2017  
(平成29年)

8

No.190



めざせ 甲子園

広島県立大竹高等学校野球部

◆第2回定例会	2ページ
◆審議結果表	3ページ
◆議会日誌	3ページ
◆一般質問	4ページ
◆陳情	9ページ
◆9月議会日程	9ページ
◆特別委員会報告	10ページ
◆議会報告会	12ページ
◆スマイルインタビュー・あとがき	14ページ



# 第2回 定例会

第2回定例会は、平成29年6月5日～6月26日の22日間行われました。詳細については、平成29年9月ごろに本会議録が製本されますので、市ホームページ、市情報公開コーナー、図書館等をご覧ください。市ホームページで録画中継もご覧いただけます。

## 総務文教委員会

### 主な審査内容

● 職員の育児休業等に関する条例の一部改正について

【解説】 国家公務員の育児休業について定めたる人事院規則の改正に伴い、保育所等の定員が超過し、待機児童として保育所等に入所できない場合にも、育児休業が取得できるようにするための条例改正。

Q 夫婦の場合、男性と女性が交代で1年半ずつ育児休業を取得することも可能なか問う。

A 育児休業期間は無給である。どちらがとつてもよいことになっているため、交代で取得することは可能である。

● 平成29年度大竹市一般会計補正予算（第1号）

【解説】 歳入歳出にそれぞれ4千493万8千円を追加するもの。

### ○主な内容

#### 【歳入】

・ 寄付金 105万1千円  
・ スポーツ振興くじ助成金 598万7千円

・ 大河原ため池改修事業債 1千860万円

#### 【歳出】

・ シルバー人材センター運営補助金 700万円

・ 農道水路補修工事費 1千700万円

・ 公園等環境保全推進事業補助金 317万5千円

・ 環境保全推進事業補助金 390万円

・ 校庭芝生維持管理等補助金 153万円

・ 社会教育施設等環境保全推進事業補助金 266万9千円

・ 公園維持管理業務委託料（3公園分） 1千194万7千円

Q 他市に比べてシルバー人材センターへの補助金が多い理由について問う。

A 高齢者活用現役世代雇用サポート事業の補助金における国の限度額の考え方は、派遣事業における就業述べ人員にかかっている。大竹市の

就業述べ人員は広島市をも上回っており、県内トップである。このことが他市町より補助金額が大きな理由である。

Q 大竹シルバー人材センターへの運営費補助をやめる理由について問う。

A 大竹市シルバー人材センターが、誤解を与えかねない状況のまま、運営費補助を受けながら自主事業を継続することは困難と判断されたため、運営費補助金は減額して民生費に一括計上し、市として行わなければならぬ事業については改めて委託料として計上するよう、一般会計補正予算を提案した。

## 生活環境委員会

### 主な審査内容

● 大竹市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について

【解説】 これまで支給認定証は、もれなく保護者に公布していたが、

子ども・子育て支援法施行規則の改正に伴い、保護者の申請があった場合にのみ公布することになったための条例改正。

● 大竹市地域包括支援センターの設置者が遵守すべき基準を定める条例の一部改正について

【解説】 介護保険法施行規則の改正に伴い、主任介護支援専門員の資格期限を更新するものは、更新研修を修了していることが必要であるとの規定を加えたための条例改正。

## 総務文教委員会主な審査 生活環境委員会主な審査

※採決の結果、すべての議案が原案のとおり可決



本会議での採決の結果  
原案のとおり可決

## 第2回市議会(定例会) 議案の審議結果表(主な議案)

	議案など	児玉朋也	末広和基	賀屋幸治	北地範久	西村一啓	和田芳弘	大井涉	網谷芳孝	藤井馨	山崎年一	日域雅子	細川雅子	寺岡公章	田中実穂	山本孝三	審議結果
議案第35~43号	大竹市農業委員会委員の任命の同意について	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第45号	職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第46号	大竹市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第47号	大竹市地域包括支援センターの設置者が遵守すべき基準を定める条例の一部改正について	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第48号	平成29年度大竹市一般会計補正予算(第1号)	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
平成27年陳情第2号	小方小学校移転跡地に「公園」設置陳情	—	●	●	●	●	●	○	●	○	○	○	●	●	●	●	不採択
平成29年決議案第1号	岩国基地周辺市における課題に関する要望書	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

この表は本会議で採決のあと、本人の申告にもとづいて作成したものです。

—: 議長    ○: 賛成    ●: 反対

### 議会目録

5月~7月

- 5月 2日 基地周辺対策特別委員会
- 8日 議員全員協議会
- 12日 総務文教委員政策研究会
- 16日 議会報告会  
(サトピア、エスポワールあおたけ、安条集会所)
- 18日 議会報告会  
(玖波公民館、黒川集会所、総合市民会館)
- 19日 基地周辺対策特別委員会  
小方地域まちづくり対策特別委員会
- 20日 議会報告会  
(松ヶ原集会所、農林振興センター、阿多田島漁協)
- 24日 全国市議会議長会定期総会(東京都)
- 25日 石油基地都市議会協議会総会(東京都)
- 26日 生活環境委員協議会
- 30日 大竹・和木・岩国地域議会環境対策協議会
- 6月 5日 広報広聴特別委員会  
議会運営委員会  
議員全員協議会

- 6月12日 議員全員協議会  
本会議
- 13日 本会議
- 14日 総務文教委員会
- 15日 生活環境委員会  
生活環境委員協議会
- 19日 基地周辺対策特別委員会  
小方地域まちづくり対策特別委員会  
議会改革調査会
- 26日 議会運営委員会  
本会議  
議員全員協議会
- 30日 広報広聴特別委員会
- 7月11日 広報広聴特別委員会
- 18日 広報広聴特別委員会  
議会運営委員会
- 21日 議会改革調査会  
先進地事例調査研究(東広島市)
- 27日~28日 全国市議会議長会基地協議会  
中国・四国部会定期総会(岡山市)



**賀屋 幸治**

- 北朝鮮の弾道ミサイル防衛システムの配備について

**網谷 芳孝**

- 米軍再編問題に関するこれからの大竹市の対処について
- 玖波駅西口の駐輪場設置または駐輪場料金について

**大井 涉**

- まちづくりと財源について（市内全域）
- 小方まちづくりで、公開されていない計画案の公表はいつ頃ですか。

**山本 孝三**

- 基地問題に対処する基本姿勢について
- コンパクトシティ策定・その構想と事業内容について

**日域 究**

- 大竹市からシルバー人材センターへの補助金は、2,989万円ですか。
- 連帯保証人は市営住宅入居者の絶対条件ですか。
- 栗谷町後原地区に隣接するメガソーラーの設計変更等に関して。

**西村 一啓**

- 地域力の向上に向け地域安全対策についてお尋ね致します。

**藤井 馨**

- 阿多田診療所の医師との10年契約が来年満了します。今後の取り組みについて伺います。関連質問を行います。

**細川 雅子**

- 大竹市の小児医療の現状と今後について

**末広 和基**

- 大願寺（現在小方学園・小方ヶ丘団地など）の、開発から売却に至る経緯について、販売価格等、議会議決された内容も含めてお尋ね致します。
- 行政裁量とは、行政行為をするに当たり根拠法令の解釈適用につき行政庁に許された判断の余地。とありますが、本件との関連は？

**問** 北朝鮮が核とミサイル開発を加速させている中、米国トランプ政権はこれまでの「戦略的忍耐」は終わったとして軍事的緊張が急速に高まっている。在日米軍基地がミサイル攻撃の標的との報道もあるが、現在、岩国基地周辺には、防衛システムのPAC-3（パトリオット迎撃ミサイル）は配備されていません。岩国基地の隣接自治体として、「深刻な脅威」に対して新たな弾道ミサイル防衛システムの配備を国に要請する必要があると思うが、見解を伺います。また、弾道ミサイルが発射されてから7〜10分で日本に着弾すると言われており、各地でJアラートを鳴らしての避難訓練が実施されているが、今後の対応を伺います。

北朝鮮の弾道ミサイル防衛システムの配備について



賀屋 幸治



迎撃ミサイル PAC-3

**答** 国に対しては、有事の際の市民の安全・安心の確保のため、いかなる事態にも対応できるようにお願いしていきたいと考えています。北朝鮮からの弾道ミサイル発射を想定した避難訓練の重要性は認識していますが、まずはしっかりと市民の皆さんに弾道ミサイル落下時の避難行動について、周知をしていかなければならないと考え、5月号の市広報とともに、避難啓発のチラシを配布し、ホームページでも案内をしています。今後も市内公共施設等への掲示やチラシの配布、自治会等を通じてのお知らせなど、あらゆる機会を利用して周知に努めます。





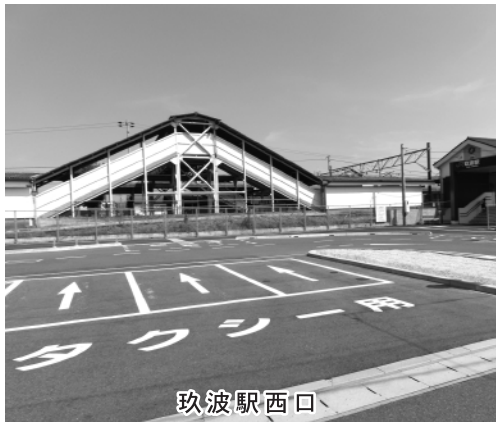
網谷 芳孝

米軍再編問題に対しこれからの大竹市の対応について

**問** いよいよ、今年7月より来年5月にかけて艦載機の移転が始まりますが、これまでは安心・安全対策または再編交付金などに対し、要望・交渉など行ってきたと思われるが、これからは地域振興策にも力を注いではいかがでしょうか。見解を問う。

**答** 他の地域に代わり我慢を強いられる地域には十分な配慮が必要と考えます。今後も再編関連特別事業の充実、基地周辺地域の負担軽減や地域振興策、また、自治体の裁量で効果的な施策が実施できる恒久的な支援制度の創設をお願いしていきます。

玖波駅西口の駐輪場設置または駐輪場料金について



玖波駅西口

**問** 玖波駅西口の完成は地域住民としては、大変喜んでいられるところですが、駐輪場がないことにより自転車の利用者にとっては大変な不便を感じております。駐輪場の設置に向けての考えと、岩国駅から広島駅までの間の駐輪料金は、大竹駅と玖波駅が一番高いことへの見解を問う。

**答** 玖波駅駐輪場は、現在、半分以上が空いており、新たな整備は難しいと考えます。利用者が増え整備の必要性が高まれば検討する考えです。大竹・玖波駅前の駐輪場は民間が管理運営しており、独立採算での安定運営が可能となる料金を設定していますので、ご理解をお願いします。

**答** 市の将来像「笑顔・元気 かがやく大竹」を実現するための施策・事業等が第五次大竹市総合計画です。良いまちにしたい、市民の皆様幸せで充実した人生を送ってもらいたいとの思いで、収入の範囲でしか物事を進めることができない行政の仕組のなかで、皆様の声を聞き、議論を重ね優先順位をつけてきました。

**問** まちづくりは大事な事業です。30年先、50年先の本市はどのようなイメージを描いていますか。優先されるべきまちづくり事業とはどのような事業ですか。年次計画や財源も示してください。市民との共有されたまちづくりが行われてきたかお聞きします。

まちづくりと財源について  
(市内全域) 問います



大井 涉

小方まちづくりで、公開されていない計画案の公表はいつ

**問** 旧小方小中学校跡地まちづくり構想は公表されました。しかし、同時に依頼した、小方新駅設置や市道整備計画はいまだ公表されていません。公表されない理由、今後公表されるとしたらいつ頃かお聞きします。

**答** 計画の平面プランは作成しましたが鉄道事業者等との協議はこれからであり、流動的な計画の公表は地権者等の皆様にも混乱やご心配をおかけします。関係機関の了解が概ね得られた段階で公表可能と考えます。





山本 孝三

基地問題に対処する  
基本姿勢について

**問** 北朝鮮の核開発・ミサイル実験などの挑発行為は、極東における軍事緊張を高め、岩国基地もまた、際限なく強化されています。  
軍事力の競い合いではなく、外交努力による平和追及の道こそ、今、政治に強く求められていると思います。市長の考えを伺います。

**答** 本市にも、弾道ミサイル攻撃の被害が及ぶのではないかとのご心配については、私も察じています。市民の安全・安心の確保のため、最大限の対応を取っていただくよう、国にお願いしていきます。

コンパクトシティ策定。  
その構想と事業内容について

**問** 住みよい町づくりとコンパクトシティの計画策定・実施は、整合性があるのか。都市再生特別措置法は、都市機能誘導区域と居住誘導区域を定め、公共施設の統廃合、税負担等の増大などが懸念されます。  
住んでいる地域の住民の日常生活の利便性が失われる心配はありませんか。説明を求めます。

**答** 本市の場合、沿岸部の平地に、大竹、小方、玖波の3地区があり、駅や市役所を中心に商業施設や医療、公共交通、住宅などがまとまって立地しており、ある程度コンパクトに集約されています。この3地区を地域拠点とし、それぞれの特徴を生かしたまちづくりが基本となることに大きな変更はありません。



岩国基地への着陸体勢に入る F-35B  
(米海兵隊ウェブサイトより)

シルバー人材センターに対する  
補助金について



日域 究

**問** 委託料と補助金の違いをお尋ねします。また、市の財政にも有利とは、校庭芝生維持経費では27年に委託料を補助金にしたことで国の補助金と同額入るから、前年の200万円が153万円に減せたと解せますか。

**答** 委託料は自治体の事業を特定の団体等に行わせる場合に支払うもので、補助金は特定の団体等が行う事業を補助するものです。平成26年度の校庭芝生維持管理委託料は204万3千円で、運営補助に切り替えた翌年度は業務拡大分を上乗せし153万円です。市の運営補助金と同額の国庫補助金が入るため、シルバー人材センターの運営強化としては、市の支出の倍額の効果があります。

嵐谷のメガソーラーについて

**問** 栗谷町に接する山(写真)で工事が進んでいます。森林法の許可は廿日市市ですが、隣接自治体として大竹市も意見を求められます。しかし、この土地は市長の親族が太陽光発電業者に売却したもので、市長は利益相反的立場でもあります。単に市長が市を代表して意見を言うのではなく、せめて議会にも、その内容を伝えて欲しいと思います。

**答** 設計変更について廿日市市から意見照会がありましたので、本市への影響等について関係部署の意見をとりまとめ、回答する予定です。



栗谷町後原地区から嵐谷メガソーラーを臨む





西村 一啓

地域力の向上に向けた地域安全対策について

**問** ①地域住民の安全・安心な暮らしを地域ぐるみで推進する取り組みの中、特に地域の高齢者が安心して暮らすための情報伝達について問う。

②市内の中山間地域にクマの出没が六日間にわたりありましたが、このような情報伝達を、地域の高齢者へ明確に伝える対策等について問う。

**答** ①民生・児童委員や自治会の協力を得て、緊急時の情報伝達を支援する仕組みを作っています。また、社会福祉協議会も地域に向いて、きめ細かな支援体制の構築を進めています。地域で安心して暮らすためには、人と人のつながりや隣近所同士の助け合いが重要であり、地域力を高めるために地域住民主体の



「いきいき百歳体操」グループの立上げを支援しています。  
人と人のつながりの場、支え合う関係への発展を期待しています。  
②クマの目撃情報があった場合には警察署や猟友会と現地をパトロールし、防災行政無線や防災メールで注意を喚起します。また、小中学校や自治会への情報提供に努めています。チラシの作成・配布や防災行政無線での注意喚起を自ら行った自治会もあり、地域を自分達で守る積極的な取組を大変心強く感じています。



藤井 馨

阿多田診療所の契約満了後の取り組みについて伺います。

**問** 阿多田診療所は平成20年7月1日に林医師と契約を交わし来年6月30日に契約満了の10年を迎えます。その後の阿多田診療所の運営をどのように進めていくのか伺います。林医師は、着任以来、診察を行いながら僻地診療の多くの課題を改善してこられました。島民は安心して生活が出来たと思います。しかし、林医師も10歳年を召された訳で、いつか、リタイアする日が参ります。若い医師が島嶼部医療の志を持たれて来られても、御家族の生活のことや子どもさんの就学のこと、看護師や受付で働く方のことも同時に考慮しなければなりません。

また、島で緊急患者が発生した時の行政の取り組みについて伺います。

**答** 契約終了後の阿多田診療所のあり方について、自治会や診療所運営医師の意向確認などの調整を行っています。島内に医師が常駐することで、急患の初期救急や救急搬送の調整などの迅速な対応が可能です。また、在宅医療や地域包括ケアへの移行の核は地域の医療機関であり、「離島での医療の確保」のためにも重要な施設と認識しており、これらを総合的に考え、あり方を検討します。  
急患発生時の対応は、機会をとらえ周知してきましたが、先般、対応方法に迷ったとの報告を受け、診療所医師や自治会と協議しました。前回の周知から年月が経過し、対応方法を知らない方も居られるため、新たにチラシを作成し、皆様に周知することにしています。





細川 雅子

大竹市の小児医療の現状と今後について

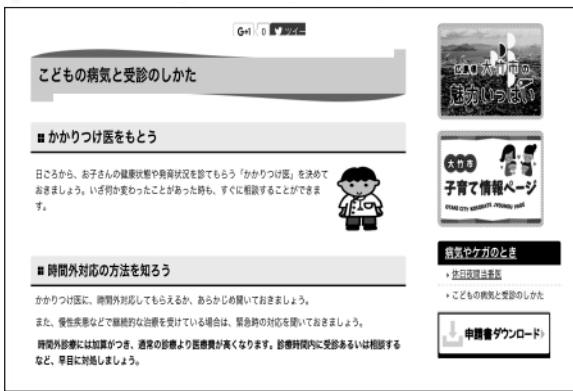
**問** 西医療センターでの夜間の小児の救急受診が、これまで20時までであったものが6月1日より17時15分となりました。小さなお子さんのいる子育て世代にとって夜間に受診できる医療機関は、病児保育と同様に子育てにおけるセーフティネットです。子供が急病になった時、最初に掛かりつけ医に、次の手段として近くに診ていただける病院があるとどんなにか心強いことでしょうか。

また、本市が定住促進を進めるうえで、小児医療の充実が欠かすことができないと考えます。

一日も早く、西医療センターでの夜間の診療が再開できることを願って、本市の小児医療の現状と課題、および夜間診療についてお考えを伺います。

**答** 市内には、小児科がある医療機関が広島西医療センターを含めて6施設あり、そのうち、小児科を専門とする医師が診療している医療機関は4施設です。

市内の医療機関の診療時間の終了後は、広島県及び山口県が指定する医療機関を受診することになり、時間的にも経費的にも負担を伴います。広島西医療センターで20時まで診療できた今までの救急診療体制は、子どもを持つ家庭への安心につながっていたものと考えます。これからも、一般小児科の医師の増員や、小児救急の診療時間の延長をすみやかに行っていただけるよう、広島西医療センターへの要望等を行っていきたく考えています。



市ホームページ「子育て情報ページ」より



末広 和基

大願寺地区、開発初期から、売却に至る経緯についてお尋ね致します。

**問** 過去の議会及び関連委員会議事録や当初の訴状・地裁判決文・控訴理由書・高裁判決文などを参照しても理解できません。ご説明願います。

**答** 昭和62年頃に大竹港東栄地区整備事業が計画され、この事業とセットで計画された大願寺宅地造成事業は、バブル景気の崩壊もあり土の搬出が終了した平成17年度末には約127億円の借入金が残り、巨額の債務を抱えることとなりました。

平成20年から3回行われた入札では売却できず、小方学園の開校に間に合わせるべく行った平成23年11月の4回目の入札で、ようやく1グループからの応札があり、仮契約となりました。

同年12月8日の議員全員協議会では、売り渡しの必要性、債務返済、税収見込、予定価格の算定方法などを説明しています。

同月12日の生活環境委員会では、不動産鑑定評価額が約7億円、予定価格は将来の地価を想定して算出した3億3千777万8千342円であることを説明し、賛成多数で可決すべきものと決しました。同月15日の本会議でも、本件売却価格が不動産鑑定評価額の約半額となることを認識した上で、その妥当性やまちづくりの観点を含めた審議を経て、可決されました。

また、平成24年12月14日の本会議において平成23年度土地造成特別会計決算は、本件の売却議決については、不動産鑑定評価額の半額ではあるが、売り渡しの妥当性、必要性から賛成などの意見が多数を占め、承認されました。



大竹港（あこがれみなと）



# 陳 情

陳情書名 陳情提出者	要 旨	●付託委員会 ○委員会の討論 【委員会の結果】	【本会議 の結果】
<b>小方小学校移転跡地に「公園」設置陳情</b>  小方一丁目南自治会 会長 飯森 仁志 ほか 2 団体	①地区自治会の各種イベントができる広場であること ②幼児～高齢者までが使用できる広場であること ③小方小学校跡地としてのモニュメントを設置すること ④災害対策本部が設置された際の第 2 次避難場所の新規指定	○小方地域まちづくり対策特別委員会 ●「小方地区まちづくり構想が平成 28 年度にでき、今後ゾーンごとと検討していくべきである」「地元の要望を今の状態で切り捨てるのは、説得力に欠ける」 【不採択】	【不採択】
<b>小方一丁目と二丁目を連絡する JR アンダーパス整備についての陳情</b>  小方商和会 会長 大山 正治	「小方地区のまちづくり基本構想」(素案)には、現在の小方地区の重要な問題点の解決策が明確に記載されていない。 現状でも晴海地区に大型商業施設が次々と建設され、JR アンダーパスの交通量は増加の一途であり、商和会会員も仕事で通過する際の危険箇所を挙げている。今後さらに晴海臨海公園、旧小方小・中学校跡地が整備されれば、交通量も増えてますます危険な箇所になるのは明白であり、次の項目について陳情する。 JR アンダーパスの拡幅整備 ①車が安全に離合できる幅員の確保 ②車歩分離は必要不可欠で高齢者・幼児が安心して通行できる歩道整備	○生活環境委員会 ●「今後の関係機関との協議の状況を踏まえて審査する必要がある」 【継続審査】	【継続審査】

## 本会議での討論

### ●小方小学校移転跡地に「公園」設置陳情

#### 【採択とすべき討論】

- 「構想はできたが、具体的な事業についてはまだ決まっていない。陳情者の意思を尊重し、期待に応えられるよう努力すべきであり、審議を継続すべきである」
- 「現在、周辺に住んでいる住民の方のための、地域の行事ができる場所を確保して欲しいというお願いである。平成 12 年から審議を継続しており、悪くても継続審議をするべきである」
- 「まだ最終段階になっていない。公園がどこまでできるか分からないが、可能な限り地元の意見を最後まで聞くというスタンスをどこかに残しておくべきである」

#### 【不採択とすべき討論】

- 「現時点で旧小学校跡地に公園を設置することを採択すると、そのことが今後の開発の妨げとなることも考えられる。今回の陳情については一度白紙に戻し、陳情者にも十分な説明をする」
- 「地域の皆様には、小方地域全体の総合的な、広域的な未来像を共有していただく中で、再要望案、再検討案を期待する意味を込めて、当陳情に対しては不採択と考えるべきである」

## 9 月議会日程(予定)

本 会 議	本 会 議	本 会 議	本 会 議	本 会 議	本 会 議	本 会 議
9 月 26 日	9 月 15 日	9 月 14 日	9 月 13 日	9 月 12 日	9 月 11 日	9 月 6 日
(火)	(金)	(木)	(水)	(火)	(月)	(水)
特別委員会	常任委員会	〃(予備日)	〃(予備日)	〃(予備日)	〃(予備日)	〃(予備日)

市議会では予算や条例をはじめ行政に対する一般質問など、住みよいまちづくりをめざして審議を行います。  
本会議、委員会とも傍聴できます。議会がどのように運営されているか傍聴してみませんか。

## 議云を

## 傍聴しませんか



# 小方地域まちづくり対策特別委員会 活動報告

小方地域まちづくり対策特別

委員会は、広大な空き地となっており、旧小方小学校・中学校の跡地の活用策が明確ではない中で、ここを中心とした小方地域のまちづくりが、大竹市の発展に重要な役割を果たすと考え、小方地域のまちづくりを積極的に議論するため、設置された特別委員会でございます。これまで18回の委員会を開催し議論してまいりました。

まずは、新駅設置についてその一連の流れを学習するため、和木町へ駅の視察に伺いました。ここでは駅設置の過程や設置における財政面での課題、また行政面での課題等について伺うことができました。

その後、さらに知識を深めるため、駅を中心に周辺のまちづくりを進めているオガールプロジェクトの視察のため、岩手県紫波町へ伺いました。

この間、大竹市では小方地区のまちづくり基本構想の策定業

務が進められました。

まちづくり基本構想の策定にあたっては、小方地域まちづくり対策特別委員会においても、ワークショップを実施いたしました。

このワークショップには委員外の議員も参加し、小方地区の強み・弱みについて分析し、まちづくりのコンセプトやまちづくりの方向性について様々な意見を出しました。

こうして完成した基本構想にもありますように、「気になる大竹、気になる大竹、小方“宝箱”構想」というコンセプトのもと、これからの小方地域のまちづくりは進められていきます。

小方地域のまちづくりを進める上で、新駅の設置や、JRと2号線に分断された海側と山側の交通の利便性向上は欠かせません。

また、新駅設置に向けて地域の住民や企業、また期成同盟会等との協力体制も必要です。

まだまだ大まかな方向性を示した段階であるということとは重々承知しておりますが、スピード感を持った取り組みを期待しております。

今後は、新駅設置に向け、より主体的に取り組むため、議会においてもJRとの話し合いの機会を持ち、地域の皆様と協力するといった活動を視野に入れることが必要ではないかと考えております。

以上、小方地域まちづくり対策特別委員会の活動報告です。

## 小方地域まちづくり対策特別委員

- |      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 細川 雅子 |
| 副委員長 | 和田 芳弘 |
| 委員   | 末広 和基 |
|      | 賀屋 幸治 |
|      | 藤井 馨  |
|      | 日域 究  |
|      | 田中 実穂 |
|      | 山本 孝三 |

## 跡地活用・導入施設(案)



ゾーン	導入機能	導入施設	活用方策
新駅周辺ゾーン	交通	・新駅 ・駅前広場 ・駐車場	・交通結節点
居住ゾーン	住居	・住宅	・居住スペース
	商業	・商業施設 (コンビニ等)	・近隣住民向け小売施設
にぎわい交流ゾーン	賑わい交流	・地域活性化施設 ・交流広場 ・遊歩道 ・温浴施設等	・賑わいづくり ・交流イベント
レクリエーションゾーン	レクリエーション	・体育館(既存)	・健康スポーツの場 ・屋内イベント会場
子育て支援ゾーン	子育て	・子育て支援施設 ・保育所	・子育てコミュニティ形成の場

平成 28 年度策定「小方地区のまちづくり基本構想」より



# 基地周辺対策特別委員会 中間報告

基地周辺対策特別委員会は、在日米軍等再編計画に伴う岩国基地周辺対策に関する事項について協議するため、平成27年9月議会において設置され、協議また各種調査活動を行って参りました。

特別委員会設置後1年9カ月間の、24回の委員会開催と5回の調査研究活動についてご報告いたします。

委員会設置後、まず今後の活動計画と到達点について協議し共有を図りました。その結果、約2年後を目処に国に対し大竹市議会として要望書を提出することを見据え、当面、委員会での情報集積を進めるために、勉強会や外部との意見交換などの調査活動を活動の柱に据えました。本市財政係による基地関連交付金勉強会や、中国四国防衛局の職員をお招きしての岩国基地の再編計画等に関する勉強会、阿多田島の現状を把握するため、阿多田島の現地意見交換会、岩国市や和木町への訪問調査などを行いました。

また厚木基地とその周辺市の

綾瀬市、海老名市、座間市を訪問し、現地の様子や課題等について多くのご意見をいただきました。

約半年かけたこれらの調査活動を通じて学んだ事を、委員会として大竹市と大竹市民のためにどう活かしていくかを主眼に

## 岩国基地周辺市における課題に関する要望書（抜粋）

本市は、広島県の西部県境に位置する臨海工業都市で、平成18年に閣議決定された在日米軍等再編計画において、広島県内で唯一再編の容認を表明した自治体として、これまで市民の理解を求める事に努めて参りました。

岩国基地の在る山口県岩国市と隣接しており、滑走路から約7kmの地点には、養殖業をはじめとした漁業を産業の中心とする人口約300名の阿多田島があり、基地から離陸した航空機が島の上空を旋回している状況です。また市域沿岸部には石油化学工場などが集積しており、万が一の災害時には広範囲に及び甚大な被害が推測されます。

また、本年7月頃から空母艦載機移駐が開始されることが示されており、移駐後は航空機数・基地規模とも国内最大級にまで拡大されます。これにより、阿多田島をはじめとした市域における騒音被害の増大や事件・事故への不安など、基地に起因する本市への多大な影響が懸念されます。

移駐について岩国基地周辺市町自治体及び住民が、国民を代表して負担に耐える実情を十分にご認識いただき、国の責任のもとで基地問題に関する以下の諸項目についてご配慮を賜りますよう要望致します。

- 1、航空機の訓練について
- 2、騒音対策の強化について
- 3、航空機事故や関係者による不祥事の防止等、安全と安心の確保について
- 4、情報の取り扱い及び提供について
- 5、財政措置・環境整備について



要望書添付資料

提出先：内閣総理大臣 財務大臣  
外務大臣 防衛大臣

協議した結果、あらためて要望書提出に向けて取り組む方針を確認し作成作業に取り掛かりました。

要望書は「岩国基地周辺市における課題に関する要望書」として国に提出する事とし、作業では要望項目を抽出してそれらを各分野に整理し、慎重に8回の校正を行いました。6月定例会に決議案として提出し、採決の結果可決されました。

## 基地周辺対策特別委員

委員長  
副委員長  
委員

寺岡 公章  
網谷 芳孝  
児玉 朋也  
北地 一久  
西村 啓  
大井 一  
山崎 渉

たので約2年間の委員会活動の報告をさせていただきます。

# 議会報告会を開催しました



平成29年5月16日、18日、20日の3日間、市内9会場（サントピア・エスポワールおおたけ・安条集会所・玖波公民館・黒川集会所・総合市民会館・松ヶ原集会所・農林振興センター（栗谷）・阿多田島漁協）で、平成29年議会報告会を開催しました。

のべ110人の方にお越しいただき、議員からの議会報告の後、議会に関する様々なご意見、ご感想等をいただきました。

各会場の報告書とアンケートは、大竹市（市議会）のホームページに掲載しています。

## 報告会の内容

- 議会報告
  - ・平成29年度予算審査報告
  - ・3月定例会議案審査報告
  - ・質疑応答
- 意見交換



## 報告に関する 主な質疑

**Q** 農業委員について、今回の制度改正でどのように変わるのか。また、どのように委員は選出されるのか。

**A** 農業委員の選出方法が、従来の選挙制から、推薦・募集を行い市議会の同意を経て市長が任命する方法に変わる。農業委員9名、農地利用最適化推進委員2名で、委員会の委員等の定数は従来の11名と変わらない。

**Q** ふるさと納税に関する返礼品の出品方法は、どのようになればよいのか。

**A** 大竹市内の特産品・産業品等の掘り起しの観点から、地域の関連品に重点を置いて、市役所で公募している。



## 意見交換でのご意見等

**Q** 市内で分娩できなくなっている。議会の考えは。

**A** 諦めてはいない。機会をとらえて発言はしているが、産科医が減っている状況となっている。

県内で圏域に分け体制を整えており、J A総合病院の産科医を確保するため、補助金等の支援を行い、充実を図っている。

**Q** 白石・本町地区の雨水対策の進捗状況は。

**A** 排水路設置のための道路について検討が始められている。時間はかかると思われるが、重要課題として取り組んでいる。

**Q** 空き家をうまく利用して、地域の活性化を図れないか。

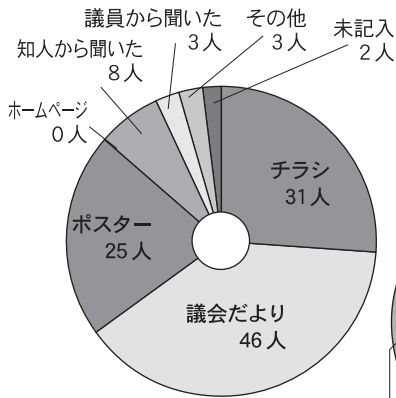
**A** 現在、市では空家対策協議会を設置し、対応に取り組んでいる。対応が急がれるのは、特定空家の問題である。空き家の利活用について、空家バンク制度などがあるが、今後の課題として取り組んでいきたい。

**特定空家**…そのまま放置すれば倒壊等の恐れのある状態など、周辺の生活環境を保全するために放置するべきではない状態の空き家のこと

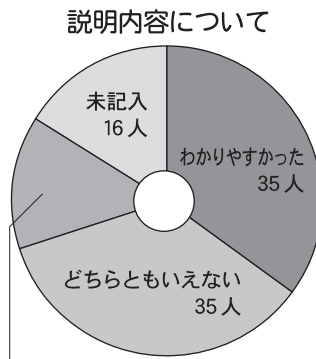


# アンケート結果

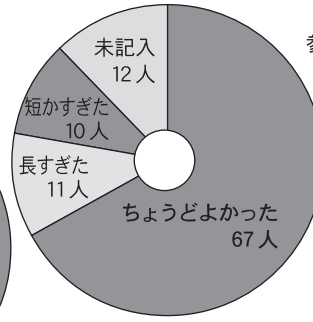
(回収数 100 枚)



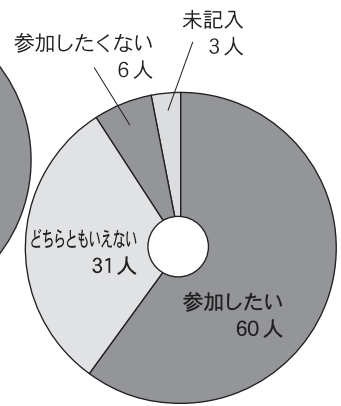
議会報告会をどのようにして知りましたか。(複数回答含む)



説明内容について



開催時間について



今回のような報告会に、また参加したいと思いますか。

## ご意見・ご感想 (抜粋)

- 初めて参加しましたが、知らなかったことがわかりよかったですと思います。予算の事でも、あまり細かいことは関心がなかったですが、説明を聞きわかりやすかった。
- 住民参加者が少なく、質問者も限られていたので1時間30分でよかったと思います。
- 意見交換の時間が短い。
- 議員が何を考えているか少しは分かった。
- 質問事項については、前もって準備した方がよい。質疑応答のテーマについては、前もって決めた方がよい。
- 主な論点について、賛成討論・反対討論を言葉だけでなく文章にして欲しい。
- スライドが見にくすぎる。もっと画面を大きくするか、簡潔に。
- 若年層(40代まで)を参加させる方策を考えて欲しい。地方自治の原点である執行部と議会の関係確立を望む。
- 質疑応答も大変活発でした。議員さんからの説明もわかりやすかった。
- 議員は良く努力している。昔から見ればみな真面目である。議会報告はもう少し回数を増やして欲しい。

議会報告会の目的は、大竹市議会としての議会活動に関する情報を積極的に公開するとともに、市民の皆さまのご意見やお考えを把握し、今後の議会活動や市政運営に反映させるためのものです。



市民の皆さまからいただいた貴重な生の声は、議会に対する意見・要望については議会内で検討し、その他は執行部に報告させていただきます。

今後も、皆さまのご意見を生かし、より良い報告会、意見を聴く会にまいります。



第17回 スマイル インタビュー



この活動に至った経緯は？

8年前にウエストミュージックジャンボリーを立ち上げ、中四国の各地でライブ活動をしてきました。

その活動の中で、音楽を通じて大竹を元気にしたいと思い、4年前から大竹駅前丸山商店さんの2階を拠点に「大竹賑わし集団Oh! バンブー倶楽部」で活動しています。

Oh! バンブー倶楽部とはどのような活動なのですか？

いろいろなジャンルの音楽を対象としたバンブーライブを月1回開催しており、市内はもとより、県外からも多くの方が参加されています。以前、ビートルズの特集をしましたが大盛況でした。



メローイエローバンド

駅に近く、集いやすいこともありですが、何より大竹の皆さんの楽しんでる姿を見て、何度もエントリーするのだと、出演者の皆さんから聞いています。

今後の活動は？

生涯学習活動の一環として、軽音楽倶楽部なども行っていますが、映画鑑賞やワークショップの場などに活用できたらと思います。

今の活動を引き続き行いながら、新しい企画として、年齢の高い層をターゲットにした歌声喫茶や、高校生などの軽音楽などの活動の場にもできたらいいと思います。

いろいろな方と音楽で交流できる場として、駅周辺の賑わいづくり、拠点づくりができればと思います。

皆で楽しみ、賑わいを作るために、ぜひ一度お越しください。



バンブーライブ軒先

あとがき

私たち7名が広報広聴特別委員として2年間「市議会だより」の編集に携わってまいりましたが、今号で任期が終了します。

市政の課題や議会での議論など市民の皆様を読みやすく親しみやすい議会だよりの編集に努めてまいりました。

一般質問では、文字を大きく読みやすく顔写真を掲載し、議員が市民の皆様の身近に感じて頂けるよう改善してみました。

「大竹市議会報発行内規」を一部改正し編集要領も新たに制定し、より実態に即したものに充実させました。

全国的に批判のありました政務活動費について委員会として「ホームページで公開」するよう申し入れを行い実現しました。

一方で、広聴活動についての取り組みに課題を残しています。

「市民の皆様と議会の架け橋」に私たちの編集活動が皆様のお役立ちになれたでしょうか？

次号から新しく選任された委員が編集にあたります。今後とも、よろしくお願ひいたします。



広報広聴特別委員

委員長  
副委員長

山崎 一年 和芳 末和 賀屋 幸治 北地 一範 西北 啓久 日域 究

市議会だよりは市のホームページにも掲載しています。